

地方自治体は どう変えられようと しているのか？



講師 山田健吾氏

- ◆広島自治体問題研究所 理事長
- ◆広島修道大学法学部教授
- ◆著書に『地方自治法と住民 判例と政策』（共著）法律文化社、『アクチュアル行政法〔第3版〕』（共著）法律文化社、『「公共私」・「広域」の連携と自治の課題』（共著）自治体研究社がある。

地方自治体は、住民の暮らしを支える大切な役割を果たしています。ところが21世紀になって合併が押し進められ、うたい文句とは反対に、住民サービスは切り捨てられ、地域は衰退しました。

政府はこの失敗から学ぶどころか、人口減少を前提にして「公共サービスの産業化」や「行政のデジタル化」、マイルドな合併である「広域連携」を進め、地方から暮らしを守る力、自治の力を奪おうとしています。

いま、政府によって自治体はどう変えられようとしているのか。それに対してどう考え、どのように立ち向かうのか。ともに学び、考えましょう。

7/4(日)

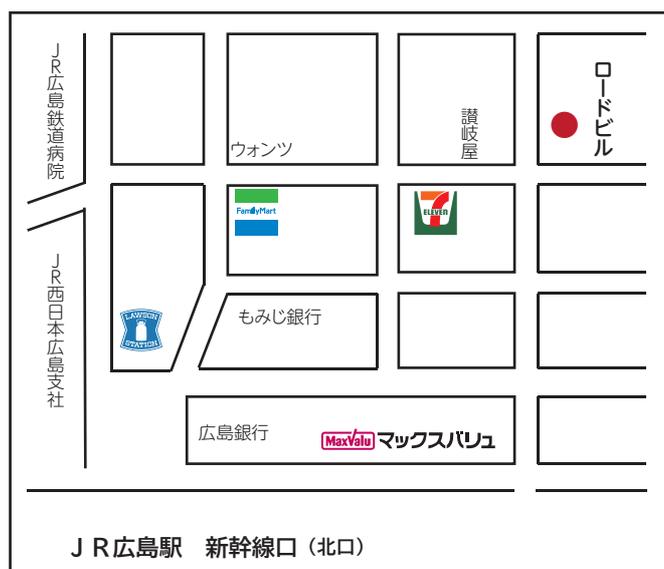
14:00 ~ 17:00

第1部 市民公開講座 14:00 ~ 15:30

第2部 広島自治研総会 15:45 ~ 17:00

広島ロードビル 3Fホール

ただし、緊急事態宣言が解除されない場合にはオンラインでの開催となり、ロードビルは使いません。



主催 広島自治体問題研究所

〒730-0051 広島市中区大手町五丁目 16-18 (パルビル 3F)

TEL (082) 241-1713 FAX (082) 298-2304 Email: hjitiken@urban.ne.jp